



“一丁啮”^{いっちょかみ} が行く！

第53回：ファーストフード店

外出する機会が多い私はよくファーストフード店で昼食をとります。ファーストフードと言っても、若者が多い店ではなくもっぱら牛丼とかカレーとかラーメンとかのチェーン店です。

それぞれ経営母体が違うはずなのに、どこのファーストフード店に行ってもなんであんなに同じように機械的に話すんでしょうかね。マニュアル通りにオウム返しに言っているだけで心はまったく伝わってきません。はじめの頃は少し腹立たしく思ったのですが、慣れてくると「そんなもんや」とあきらめ気味になり、最近では気にもならなくなりました。

しかし、最近気になりだしたのがやたらうるさいこと。店内がうるさいのではなく、店員がうるさいのです。「〇名様、ご来店です！」「〇番テーブルのご案内します」「〇番テーブル、オーダー待ちです」「〇〇のご注文をいただきました」・・・大きな声でがなり立てます。『いちいち言わんでもわかっとる！』と言いたくなります。

ある牛丼店では券売機で食券を買くと厨房のスピーカーから「並！」とコンピュータ音声が流れます。少しでも早く作って出そうということでそれはそれでいいんですが、食券をカウンターのスタッフに渡すとマイクに向かって大声で「並、一丁！」と叫びスピーカーから大音量が流れます。『オマエがでかい声で言わんでも、さっきコンピュータが言うのってやないかい！』と思わず突っ込みたくなります。突っ込むヒマもなく牛丼「並」が出てきて戦意喪失(>_<)

また別のカツ丼店ではオーダーをすると「梅一丁いただきました！」と。『オマエに食わしてやるのとちゃうで！』と言いたくなっていると、厨房から「かしこまりました！」と聞こえてきました。なかなか丁寧な物言いやと思っていると、「お一人様ご来店です」「かしこまりました！」「お客様、オーダー待ちです」「かしこまりました！」となんにでも“かしこまりました”を連発。フロアスタッフが「ちょっとトイレに」と言ったら厨房から「かしこまりました！」って。『誰にかしこまっとなにゃ！』(´へ`)

ごぞんじでしたか？

Excel ワンポイントテクニック

	A	B	C
1			
2		参加予定者	出欠
3		安藤	○
4		宇野	
5		武田	×
6		佐々木	×
7		島田	○
8		前川	○
9		伊藤	
10		藤村	×
11		岸	
12		西川	○
13		返事のあった人	7
14		返事のない人	3
15		参加する人	4
16		欠席の人	3
17			

すでに使っておられる方も多いかと思いますが、是非知っておきたい数を数える統計関数を見てみましょう。

何かの会合などで出欠をとったとき、その集計に Excel を使うことがよくあります。そんな時役に立つのがこの関数です。

左の表を見て下さい。
安藤さんから西川さんまで 10 人の名前があります。
そしてそれぞれの右に回答状況が記されています。
出席回答があった人は「○」、欠席回答の人は「×」です。
また、空欄の人はまだ返事がない人です。

何らかの文字（この場合は○か×）が入っているセルの数を数えるのが COUNTA 関数です。

=COUNTA(C3:C12) とすると文字が入っているセルの数を表示します。

逆に文字が入っていないセル、すなわち空白のセルの数を数えるのが COUNTBLANK 関数です。

=COUNTBLANK(C3:C12) とすると空白のセルの数を表示します。

特定の文字（この場合は、○とか×）の数を数えて表示するのが COUNTIF 関数です。

=COUNTIF(C3:C12,"○") とすると○の数を数えます。

=COUNTIF(C3:C12,"×") とすると×の数を数えます。

読者 訪問



第29回

お伺いした会社	エイトサウザント株式会社
お目に掛かった方	代表取締役 小笠 佳永子 さん
会社の所在地	〒542-0063 大阪市中央区東平 2-5-6 弓立ビル
主な業務内容	樹脂トレー製造業
連絡先など	TEL:06-6763-5061(代) FAX:06-6763-5066
e-mail	office@it8000.co.jp

今回は大阪の弊社ユーザーであるエイトサウザントさんにお邪魔しました。

精密部品を収納する樹脂トレーを真空成型で製造されている“工業用トレー屋さん”で、現社長のお父上が当時紙にくるんで精密部品を収納していたのを、シュークリームのトレーを見て『精密部品の収納用にこんなトレーを作ったらいいのではないか』と脱サラして創業されたとか。そして、現社長が二代目として現在 22 期目を迎えておられます。

樹脂トレーは通常金型を作って成型する工程を踏むのですが、金型の制作費が高価、納期が掛かるなどの問題があり、同社では真空成形による加工技術を確立され、低価格で短納期、しかも小ロット対応が可能だという強みを活かして事業展開を進めておられます。

現在、大阪の本社の他、東京にも営業所を開設し、一方 6 社の協力工場を擁して全国展開を推進しておられます。同業の中には特定のメーカーの系列に入っているところが少なくない中で、独立系として頑張っておられます。



小笠社長



製品の収納トレー

社名のエイトサウザントとは、創業時ターゲットユーザーが 5,000 社くらいあったのですが、顧客が更に増えて 8,000 社くらいになればいいという“夢”から命名されたとのこと。そして今、その“夢”に近づいているとか。

弊社とのお付き合いは販売管理システム『はんばいQ』を某販売店様から 10 数年前に導入いただいたときから始まります。その後、その販売店様が廃業され、当社との直接取引が始まり 10 年が経過しました。

現在は 4 台の PC で受発注管理などをカスタマイズした『はんばいQ sp』を運用していただいております。

積極的に『はんばいQ』を活用していただいております。小笠社長様は『はんばいQ sp』なくしては仕事が始まらないとおっしゃいます。本社は 6 名のスタッフがいらっしゃるのですが、『はんばいQ sp』が稼働している PC が 4 台あるということからも、社長がおっしゃるとおり『はんばいQ sp』はなくてはならない存在になっているのです。



事務所風景

私どもがお客様のニーズに合わせてカスタマイズしてご提供しているシステムが、現場で重宝されながら働いている姿は大変嬉しく思います。そして、そのシステムがお役に立って、『工業用トレーをアスクルみたいに広くユーザーにご提供したい』という小笠社長の願いが通じ、社名をテンサウザントに改められる日が来ることを願っております。

犬も歩けばサポート日記



事例をご紹介しているコーナーです。シスポートのサポート担当者の奮戦記からなにかヒントを得ていただければ幸いです。



今日のご相談

『はんばいQ』をスタンドアロンでお使いいただいているお客様からご相談をいただきました。「社内で『はんばいQ』が使えるパソコンは 1 台しかなく、そのパソコンは隣の経理課の部屋にあります。営業の私が売上データや取引先データを見たい時、隣の部屋まで行って見なければならぬのですが、私のパソコンで見れるようになりますか？追加費用をお支払いして私のパソコンに『はんばいQ』をインストールしないとダメですか？」と。

今日のご提案



原則的にはスタンドアロンの『はんばいQ』から LAN 対応マルチ版の『はんばいQ』にグレードアップしていただかなければならないのですが、詳しくお話をお聞きしたところ、2 台で同時に入力するようなことはなく、ときどき『はんばいQ』のデータを自分のパソコンで参照したいだけとのことなので、遠隔操作ソフトの利用をご提案しました。遠隔操作ソフトは数年前までは我々のようなシステム会社の人間等、ごく限られた一部の人間が使っていたのですが、近年かなり一般的になってきています。フリーソフトも結構たくさんありますが、代表的なものにマイクロソフトのリモートデスクトップ接続とか、VNC というものがあります。そういったものを使うと簡単に自分のパソコンでほかのパソコン画面を見て操作することができるようになりますので、遠隔操作ソフトの利用をお勧めしました。

会社としてはマルチ版にグレードアップしていただくのがありがたいのですが、同時使用できなくてもよく、内容を確認するだけということであれば、そういった遠隔操作ソフトの利用をお勧めするのもユーザーサービスの一つかも知れませんね。いずれマルチ版にグレードアップしていただけるように頑張ってください。

今日所感



※後日談 しばらくしてご訪問してみると結構便利に営業資料を見るために使っておられました。「いちいち隣の部屋のパソコンまで行かなくて良くなり大変助かっています。でも、あっちで使っていると使えないので、早くマルチ版にグレードアップしてもらうように社長にお願いしています」とおっしゃっておられました。無欲の勝利ですかね(´0´)